

東北圏広域地方計画協議会 第7回協議会（書面開催）における意見への対応一覧

【資料2】新たな東北圏広域地方計画 中間とりまとめ（素案）

No.	指摘箇所	意見	修正前	修正後
1	7ページ 12行目	右記のとおり誤字を修正いただきたい。	安積疎水	安積 疏 水
2	9ページ 15行目	近年の災害について、令和5年台風（2023年）の後に、「2024年7月の大雨」の文言の追記をお願いしたく存じます。（秋田県、山形県で大きな被害があり、直近のもので記憶にも新しいかと存じます。）	また、近年では、平成27年9月関東・東北豪雨（2015年）、令和元年東日本台風（2019年）、令和2年7月豪雨（2020年）、2022年7月・8月の大雨、令和5年台風13号(2023年)等の激甚化・頻発化する水災害による洪水被害や土砂災害、高潮災害が特に目立っている。	また、近年では、平成27年9月関東・東北豪雨（2015年）、令和元年東日本台風（2019年）、令和2年7月豪雨（2020年）、2022年7月・8月の大雨、令和5年台風13号(2023年）、 2024年7月の大雨 等の激甚化・頻発化する水災害による洪水被害や土砂災害、高潮災害が特に目立っている。
3	11ページ 注釈24	右記のとおり修正を検討いただきたい。 【理由】内閣総理大臣が認定した福島復興再生計画において「浜通り地域等」と記載しており、表現を統一した方が良いと考えるため。（「浜通り地域等」で1つの単語のような取り扱いをしています）	浜通り地域など	浜通り地域 等

【資料3】東北圏広域地方計画に関する広域連携プロジェクト検討状況

No.	指摘箇所	意見	修正前	修正後
1	4ページ 12行目	右記のとおり修正を検討いただきたい。 【理由】内閣総理大臣が認定した福島復興再生計画において「浜通り地域等」と記載しており、表現を統一した方が良いと考えるため。（「浜通り地域等」で1つの単語のような取り扱いをしています）	浜通り地域など	浜通り地域 等
2	6ページ 31行目	右記のとおり修正すべきではないか。 【理由】国及び東京電力において、汚染水対策は、廃炉対策と並ぶ主要課題の1つと位置付けられているため。（中長期ロードマップにおいても「廃炉・汚染水対策」という言葉が使用されている。）	～、安全かつ着実に事故収束（廃炉・処理水対策）に～	～、安全かつ着実に事故収束（廃炉・ 汚染水 ・処理水対策）に～
3	7ページ 6～7行目	右記のとおり追記いただきたい。 【理由】福島県内の除染で発生した除去土壌等について、中間貯蔵開始後30年以内に福島県外で最終処分を行うことが法律で定められているため。	～十分な除染に取り組む。 福島県内の特定廃棄物などは引き続き地元の～。	～十分な除染に取り組む。 また、福島県内の除染により発生した除去土壌などについて、中間貯蔵開始後30年以内に福島県外で最終処分を完了するために必要な取組を着実に進める。 福島県内の特定廃棄物などは引き続き地元の～。

4	14ページ 19行目	<p>右記のとおり修正を検討いただきたい。</p> <p>【理由】事前放流以外にも「貯水位運用」があるので「等」を加えたい。</p> <p>貯水位運用とは、ダムに貯めておく水位を必要最低限（時期によって異なる）にしておき、洪水発生時の貯留に貢献するもの。</p>	ダム事前放流の～	ダム事前放流などの～
5	29ページ 注釈77	「中堅企業とは、中小企業者を除く従業員数2,000人以下の企業を指す。」に修正いただけませんか？	常時使用する従業員数が2,000人以下の会社などを指す。	中堅企業とは、中小企業者を除く従業員数2,000人以下の企業を指す。
6	30ページ 31行目	<p>修正を検討いただきたい。</p> <p>【理由】福島国際研究教育機構（F-REI）が、福島イノベーション・コースト構想の更なる発展だけを目的としているような捉えられ方をされないようにするため。</p>	<p>東北圏では、3 GeV 高輝度放射光施設「NanoTerasu（ナノテラス）」の運用開始を契機としたリサーチコンプレックスの形成を始め、福島イノベーション・コースト構想の更なる発展のため、福島国際研究教育機構（F-REI）の設立、その他先端産業拠点など、世界や日本をけん引する拠点形成実現支援とその効果を最大限に発揮・普及させることを目指し、各研究開発拠点において官民連携の体制構築や情報基盤等の整備に取り組んでいる。先端科学関連の事業や研究が進められており、それらは、医療、生命科学から新機能の材料、部品の創出、情報・通信、計量・計測、環境・エネルギー分野、半導体関連産業まで多岐にわたり応用されている。</p>	<p>東北圏では、3 GeV高輝度放射光施設「NanoTerasu（ナノテラス）」の運用開始を契機としたリサーチコンプレックスの形成を始め、福島イノベーション・コースト構想、その他先端産業拠点など、世界や日本をけん引する拠点形成実現支援とその効果を最大限に発揮・普及させることを目指し、各研究開発拠点において官民連携の体制構築や情報基盤等の整備に取り組んでいる。また、福島国際研究教育機構（F-REI）は、福島イノベーション・コースト構想を更に発展させる役割も期待されている。このように、先端科学関連の事業や研究が進められており、それらは、医療、生命科学から新機能の材料、部品の創出、情報・通信、計量・計測、環境・エネルギー分野、半導体関連産業まで多岐にわたり応用されている。</p>
7	35ページ 17行目	<p>右記のとおり修正を検討いただきたい。</p> <p>【理由】農林水産省HP等の表現に合わせた方がよいため。</p>	日本型直接支払い制度	日本型直接支払制度
8	55ページ 6～15行目	<ul style="list-style-type: none"> 東北地域の光ファイバ整備率については全国目標99.9%を達成し未整備地域はわずかであること、5G基地局の整備は着実に進展してきていることから、書きぶりを修正していただきたい。 総務省が策定するデジタル田園都市国家インフラ整備計画（令和5年4月25日）においては、ローカル5Gをはじめ高度化された無線LAN等を活用していくこととしている。 	<p>（6行目）東北圏の超高速ブロードバンドの整備状況を見ると、いわゆる「ラストワンマイル」の区間が繋がっていないためにまだ利用できない地域がごく一部存在しており、中小企業におけるIT整備率の低さや5G基地局の地域格差といった課題が山積している。（略）</p> <p>（14行目）地方部と都市部の隔たりなくその整備を加速するほか、地域課題解決に資するローカル5Gの普及展開を促進する。</p>	<p>（6行目）東北圏において、超高速ブロードバンドサービスを実現するインフラとして、光ファイバの整備率は99.9%超、5G基地局についても整備が進められており、引き続き、地域のニーズなどを踏まえて整備を推進していく必要がある。また、中小企業におけるIT整備率が低いといった課題がある。（略）</p> <p>（14行目）地方部と都市部の隔たりなくその整備を加速するほか、地域課題解決に資するローカル5Gを始めとするワイヤレス・IoTソリューションの社会実装を促進する。</p>